

④ [1]

(1) 生涯

- 1 プラトンの弟子 cf. [2] (大王) の家庭教師
- 2 学園 [3] をアテネ郊外に開校

(2) 思想

- 1 [4] 主義 → 「万学の祖」 cf. 主著…『[5] 学』、『[6] 倫理学』
…「プラトンの言うイデアは個物に内在する」 ∴ 現実 (= 個物) 中心の [7] 論
ex. プラトンの家 = (A) と (B) は別物

{ 本質 = イデア (A) cf. 「理想の家のイメージ」
個物 = 材料としての木材 etc. やそれらで組み立てられた家 (B)

∴ 理想の家を重視

ex. アリストテレスの [8] 態としての家 = (A') と (B') は一つ

{ イデアとしての目的 = 形相 ([9]) (A')
個物かつ [10] 態としての手段 = 質料 ([11]) (B')

∴ 可能態 (未完) としての材料や

現実態 (一応完成) としての「現実の家」を重視

- 2 [12] 善とは目的そのもの ex. 神、人格
- 3 幸福… [13] (的生活)
- 4 「人間は [14] (社会) 的動物である」…よい人 = よい市民

a 徳

[15] 的徳 ← 理性の力
ex. テオリア、技術、知恵
[16] 的徳 (習慣的徳) ← 訓練の力 ∴ [17] (メソテース) が大切
ex. 勇気 (臆病 ↔ 向こう見ず)、
節制 (禁欲 ↔ ほうし 放恣)、正義

b 友愛 ([18]) …同志愛 (ポリス市民として)

c 正義

[19] 的正義 ex. 公共の福祉
[20] 的正義…公正さ
[21] 的正義…個人差を考慮しない ex. 法や裁判
[22] 的正義…個人差に応じる ex. 累進課税や業績給

MEMO etc.